

あ と が き

<編集顧問> <編集委員>

小野 啓郎	糸 満 盛 憲
竹 光 義 治	荻 野 利 彦
守 屋 秀 繁	越 智 隆 弘
山 室 隆 夫	菊 地 臣 一
矢 部 裕	黒 坂 昌 弘
	清 水 克 時
	高 岸 憲 二
	富 田 勝 郎
	戸 山 芳 昭

<編集同人>

井 形 高 明	澤 村 誠 志
生 田 義 和	杉 岡 洋 一
井 樋 栄 二	田 辺 剛 造
岩 田 久	田 畑 四 郎
岩 本 幸 英	玉 置 哲 也
大 井 利 夫	中 村 耕 三
小 野 村 敏 信	馬 場 久 敏
加 藤 博 之	浜 西 千 秋
金 田 清 志	廣 谷 速 人
黒 川 高 秀	佛 淵 孝 夫
腰 野 富 久	三 笠 元 彦
紺 野 慎 一	三 浦 隆 行
櫛 田 喜 三 郎	持 田 讓 治
酒 匂 崇	山 田 治 基
桜 井 実	吉 川 靖 三

このたび、本誌の編集委員を務めさせていただくことになりました。17年間編集委員を務められた守屋秀繁先生の後任ということで、あまりに前任者が大きな存在であるため、その足跡を汚さないように、編集委員を務めなければと責任を感じております。本誌は、和文での学術雑誌としては、私が整形外科医となった時から、投稿を目標としてきた雑誌です。和文での論文としては、最もレベルの高い原著が投稿される雑誌ですので、今度は編集委員として、より学術的な価値を高められるよう、自分なりに努力してみたいと思います。

この文章は、新年度を迎え、新しいスタッフがメンバーに加わる時期に書かせていただいています。新人を迎え教育することは、非常にエネルギーの要ることですが、毎年の喜びであり、若い世代の息吹を感じる新鮮なひと時であります。さて、医療従事者には、その模範を説く有名な教えがあります。医師の行いの模範としてヒポクラテスが古代に唱えた、“ヒポクラテスの誓”の中に、“自身の能力と判断に従って、患者に利すると思う治療法を選択し、害と知る治療法を決して選択しない”という一節があります。また看護師の行いの模範とされる、“ナイチンゲール誓詞”の中には、次のような一節があります。“われは心から医師を助け、わが手に託されたる人々の幸のために身を捧げん”。

“ヒポクラテスの誓”や“ナイチンゲール誓詞”の中には、もちろん現代の社会にそぐわない記載も多くありますが、上述した文章は、われわれの務めとして最も根幹に沿った教えと思われます。欧米では多くの医学校や、看護学校での卒業式で、ヒポクラテスやナイチンゲールの教えを朗読すると聞いています。しかし、今の時代では、いくらかの医療スタッフの中には、この教えがどこに行ってしまったのかと、疑問を感じざるを得ない人材も見受けられます。誇大表現そのものである、「白い巨塔」と称される大学の医局システムをつぶそうとするだけでなく、一般研修医や医療関係者に、経済理念ばかりを導入し、医療従事者の市場優先概念を作り上げた行政の政策にも、メスが入れられるべきでしょう。しかしわれわれ医療従事者がもう一度原点に立ち返って、医療の本質を見つめる必要性もひしひしと感じる今日この頃です。新しく研修を始められる医療従事者には、“どこへ行った、ヒポクラテス、ナイチンゲール”と嘆かなくてもよいように、日本の医療の将来を担うスタッフに育っていただけることを心から切望します。

(黒坂昌弘)

臨床整形外科 (第42巻 第5号)

2007年5月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

(2007 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(但し、増大号を含む)(配送料弊社負担))

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03) 3817-5704(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)医業広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2007, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。